

SCHOLARONE  
MANUSCRIPTS™

## ユーザーカンファレンス

## のご案内

## ユーザー事例から「実践的な活用方法」を学ぶ

本カンファレンスは、「ScholarOne Manuscripts™」をご利用いただいている各ジャーナルの編集に携わる方々にお集まりいただき、他のユーザーの声や、ベテランユーザーの事例紹介から「実践的な活用方法」を学んでいただけます。講演終了後には「意見交換会」と題し、弊社 ScholarOne 担当スタッフへの質問や、パネルを使った解説、ユーザー間の交流・情報交換をしていただける時間をご用意しています。ぜひお誘い合わせの上で参加ください。

## 特別企画

こんなときはどうするの？

研究論文の捏造・改ざん・盗用…  
不正を防ぐために



昨今、研究者による不正論文の問題が大きく騒がれていますが、出版・編集者の立場として、どのように考え、どう対応していくことが望ましいのでしょうか…? 今回のカンファレンスでは、日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) の北村先生をお招きし「研究・出版倫理」にフォーカスした講演や、出版倫理委員会 (COPE: Committee on Publication Ethics) セミナーへの参加レポートをパネルにて展示します。ぜひ日々の業務にお役立てください。



日時

2014年9月4日 木

14:00~17:30 意見交換会 17:30~19:00  
(受付 13:30 ~)

会場

秋葉原コンベンションホール  
東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

主催



THOMSON REUTERS



KYORINSHA



## Thomson Reuters

世界の学会・出版社からS1Mが選ばれている理由

George Kowal (Thomson Reuters)

program 1

## 編集委員会資料のご提案

Cognos Reports 機能を使った委員会資料の作成をご提案します。

program 2

## 新機能：e-formのご紹介

「利益相反の申告」「投稿の同意」などを全著者から回答を収集出来るe-form機能の詳細をご紹介します。

program 3

## ユーザー プレゼンテーション

日本疫学会、化学工学会

ジャーナルの事例紹介：  
学会による出版倫理の取り組みについて

橋本 勝美 (日本疫学会)  
山下 和子 (化学工学会)

program 4

## 特別講演

# 不正論文をなくするために

北村 聖

東京大学医学教育国際協力研究センター教授  
日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) 組織委員会委員長

program 5

## JSTが提供する出版倫理ツール

CrossCheckの利用状況について  
独立行政法人 科学技術振興機構

program 6

## アンケートへのご回答

事前にみなさまからいただいた疑問・質問にお答えします

program 7

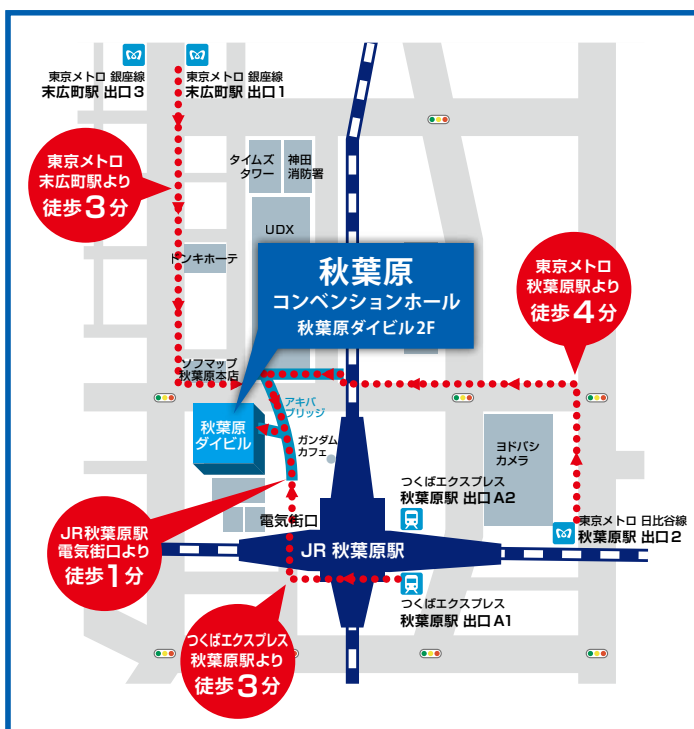
## 意見交換会 17:30~19:00

- ユーザー同士の情報交換
- 活用例：参考画面パネル展示など

普段なかなか接することのできない他ジャーナルの編集ユーザーと交流をしていただけます。

program 8

※ 講演の内容、ショートプレゼン候補学会は追加・変更になる場合がございます、ご了承ください。



## セミナー会場

# 秋葉原 コンベンションホール

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13  
秋葉原ダイビル2F TEL.03-5297-0230

- JR秋葉原駅……………徒歩1分
- 東京メトロ銀座線 末広町駅……徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅……徒歩4分
- つくばエクスプレス 秋葉原駅……徒歩3分